

ポレポレ苑のホースセラピーは、隣接する乗馬クラブ「森の馬小屋」の全面的サポートを受けています。

ホースセラピー



これが基本の形。両側にサイドウォーカーが付き、左右から騎乗者を支えます。前にリーダーが付き馬を引きます。

本むことができ、そのなかから乗馬の際の介助をボランティアで行う機会が生まれ、ボランティア人材育成にもつながります。

● 交流的意義

乗馬を楽しむ仲間として、障害のあるなしに関わらず人の輪が広がっていきます。その自然な付き合いの中からお互いに対する理解や心遣いを肉体的効果が期待できます。

● スポーツ的意義

運動不足解消、気分転換としてのレクリエーションとしての役割。本人の能力に応じて、技術の向上を目指す努力によって、大きな精神的効果も期待できます。

● 教育的意義

馬を自由に操作しようとする訓練を通して、乗り手と馬、サポートする周りの人との相互コミュニケーション能力の向上を促します。また、教育的側面からは乗馬だけでなく、馬に関わる全ての活動が社会性を養う上でよい学習の場となります。

● 医療的意義

障害のある方へのセラピーとしての乗馬は欧米では約五十年前から普及しています。国内ではまだ十分その存在が知られていないとは言えません。障害者の方にとって乗馬には非常に多くの意義があります。

Work Group

馬

ポレポレ苑では3つのグループに分かれて、月曜日から金曜日のウィークデイに作業活動をしています。作業の時間は午前、午後それぞれ約2時間。7月よりサマータイムを導入し、暑さをさげる工夫をしています。



馬班では、利用者9名と職員5名で月曜日から金曜日まで馬の世話をしています。隣接の乗馬クラブ「森の馬小屋」にはポレポレ苑所有の馬が3頭預けられていますが、それらの馬の世話はもちろん、その他の馬の世話も委託されています。内容は、馬房清掃と馬の餌やり(飼いつけ)で、これは毎日欠かさず行わなければなりません。最初は不慣れた作業で皆戸惑いながらでしたが、今ではかなりの上達ぶりです。

また、いつかは他のいろいろな施設へ馬を連れていき、乗馬会を開いてより多くの方にホースセラピーのよさを知ってもらいたいと考えています。

農園芸



農園芸班では、畑にキュウリ、トマト、ピーマン、スイカ等、花壇にペチュニア、シソ、ハーブ類を育てています。土には馬班によって回収された馬糞を発酵させ堆肥として使っています。もうすぐ野菜が収穫できるので、皆で食べるのが楽しみです。今後、栽培した植物や、堆肥を皆さんに販売できるようになればと思っています。おいしい野菜やきれいな花ができるよう、これからもっといろいろな工夫をして、毎日頑張る世話をしたいと思います。

地域交流

「家族といっしょ」リフレッシュ乗馬会

7月6日に森の馬小屋で行われた森の風クラブ主催の「家族といっしょ リフレッシュ乗馬会」では、ポレポレ苑の利用者の方や職員もサイドウォーカー等のボランティアとして参加しました。地元佐伯町をはじめ県下各地から多くの家族連れが参加して乗馬を楽しめました。



森の風クラブ・・・平成11年から障害児者乗馬に取り組む。障害児者とその家族が中心となって活動中。随時正会員、支援、賛助会員募集中。

この他、(株)パロマさんにご協力いただき、保証書や部品の袋詰め作業をはじめました。今後もっと作業の種類を増やし、より個々の利用者の方の適性に合わせた作業活動を行っていきます。



クリーン班の作業は主に利用者の方達の衣類の洗濯・仕分けや苑内の清掃です。交流館の清掃も委託されています。テーマは「苑と心をピカピカに」です。利用者9名職員4名と少ないですが、にぎやかで、ほとんどの利用者の方の洗濯をクリーン班で担っています。この班では利用者一人ひとりがそれぞれに仕事を分担して取り組んでいます。洗濯物を洗濯機や乾燥機の中に入れる人、洗濯物をたたむ人、利用者別に仕分けをする人など、自分の得意な分野で頑張っています。まさに「苑の下の力持ち」的な存在です。また毎月、一人ひとりの利用者が目標を決め、それを実行すべき意欲的に取り組んでいます。これからも、一つ一つできることを増やし、伸ばしていけることを目標にのんびり、ゆっくりあせらずやってゆきたいと思っています。

クリーン